

指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管局・部・課	都市ブランド創造局観光にぎわい部MICE・メディア芸術課
評価対象期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日

1 指定概要

指定管理施設	名 称	北九州メッセ（北九州国際展示場） 北九州国際会議場	施設類型	目的・機能
	所 在 地	北九州国際展示場：北九州市小倉北区浅野三丁目8番1号 北九州国際会議場：北九州市小倉北区浅野三丁目9番30号	I	－ ⑧
	設置目的	【北九州国際展示場】 展示会、見本市の開催の場を提供することにより、産業及び貿易の振興並びに国際交流の推進を図る。 【北九州国際会議場】 国際会議等の開催の場を提供することにより、国際化の推進および市民文化の向上を図る。		
利用料金制の状況		非利用料金制 ・ 一部利用料金制 ・ 完全利用料金制		
指定管理者	名 称	公益財団法人 北九州観光コンベンション協会		
	所 在 地	北九州市小倉北区浅野三丁目8番1号		
指定管理業務の内容		1 施設の運営に関する業務 施設及び設備、備品の利用許可等に関する業務 2 使用料の収受に関する業務 施設の使用に係る使用料の徴収業務 3 施設の維持管理に関する業務 施設の維持管理及び修繕に関する業務 4 その他 MICE誘致業務、広報業務、コンベンション等の企画・出展 勧誘・開催等に関する業務等		
指定期間		令和7年4月1日～令和10年3月31日		

【参考：評価レベル】

評価 レベル	乗 率		評価レベルの考え方
5	100%	良 い	要求水準・目標・計画を大幅に上回り、特に優れた管理運営がなされている
4	80%	↑	要求水準・目標・計画を上回り、優れた管理運営がなされている
3	60%	普 通	要求水準・目標・計画を満たしており、適正に管理運営がなされている
2	40%	↓	要求水準・目標・計画を下回る管理運営がなされている
1	20%		要求水準・目標・計画を大幅に下回る管理運営がなされている
0	0%	適切でない	不適切な管理運営がなされている

2 評価結果

評価項目	指定管理者 の自己評価	市（所管局） の評価	市（所管局）の評価理由 ※指定管理者の自己評価との 相違理由 など	配点	得点 (評価結果)
	(評価レベル：0～5)			(100点満点)	
1 施設の設置目的の達成（有効性の向上）に関する取り組み				50	33
(1) 施設の設置目的 の達成	4	3	国際会議場の利用件数は目標に達していないが、2施設ともイベントやコンベンションの誘致を積極的に行い、高い稼働率が達成できている。	35	21
(2) 利用者の満足度	4	4	アンケートの結果、「職員の対応」や「会場・設備」の項目で高い評価を得ている。アンケートの回収率が課題である。	15	12
2 効率性の向上等に関する取り組み				30	22
(1) 経費の低減等	3	3	2施設の管理運営費の目標を達成することができなかったが、施設の一体管理等を行うことで経費の削減を実施している。	20	12
(2) 収入の増加	5	5	コンサート誘致コンソーシアムとの連携強化により、大規模イベント・会議が開催され、収入は大幅に目標を上回っている。また、指定管理事業全体の収益も黒字であり、北九州市への還元を実施した。	10	10
3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取り組み				20	16
(1) 施設の管理運営 (指定管理業務) の実施状況	4	4	人員を効率的に配置し、人材育成の施策を幅広く実施している。また、小倉駅新幹線口地区振興連絡会の事務局を務め新幹線口エリアのにぎわいづくりを進めている。	10	8

(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制 など	4	4	2施設とも要綱に基づき、適切に利用者の選定が行われている。また、老朽化した施設の修繕や改修工事、施設保全のための点検を積極的に行っている。	10	8
【参考：総合評価ランク】 A：優れていると認められる (80点以上) B：やや優れていると認められる (70点以上80点未満) C：適正であると認められる (60点以上70点未満) D：努力が必要であると認められる (50点以上60点未満) E：かなりの努力が必要であると認められる (50点未満)				合 計	100
				総合評価ランク (A～E)	B

【総合評価】 ※指定管理者の特筆すべき功績及び努力を求める点等を踏まえ、総合的に記入してください。

令和7年度は、指定管理者として施設の管理運営を概ね適正に果たしている。
特に「収入の増加」に関しては、コンサート誘致コンソーシアムとの連携強化により、大規模イベントの誘致に成功し、目標を大幅に上回る利用料金収入を得ている点や事業収益を市へ還元している点は極めて高く評価できる。また、アンケート調査において職員の対応が高い評価を得ており、質の高い接客が行われている。
一方で、国際会議場の利用件数および管理運営費の低減については目標に届いておらず、さらなる努力を求めたい。

【北九州市指定管理の評価に関する検討会議における意見】

適正に評価されている。
今後も、市と指定管理者と協働で、市民サービスのより良い向上に向けて連携していただきたい。

<参考> 現指定期間中の評価結果

区 分	令和7年度 (1年目)	令和8年度 (2年目)	令和9年度 (3年目)	平 均
評価結果 (合計得点)	71	—	—	71

※高評価のインセンティブ（更新制）について

- ▶1～3年目の平均点が75点以上の指定管理者（指定期間5年間の事業者に限る）について、1期に限り指定の更新（+5年間）を認めるもの。

※低評価のペナルティ（次期選定時の減点）について

- ▶最終年度を除く全指定期間中の平均点が59点以下の指定管理者について、同指定管理施設の次期選定時の審査において減点（総合得点から10点または15点をマイナス）するもの。

事業報告書（指定管理者による自己評価）

1 指定管理施設及び指定管理者の概要

指定管理施設	名 称	北九州メッセ（北九州国際展示場） 北九州国際会議場
	所 在 地	北九州国際展示場：北九州市小倉北区浅野三丁目8番1号 北九州国際会議場：北九州市小倉北区浅野三丁目9番30号
指定管理者 （自己評価者）	名 称	公益財団法人 北九州観光コンベンション協会
	所 在 地	北九州市小倉北区浅野三丁目8番1号
指定期間		令和7年4月1日～令和10年3月31日
事業報告（自己評価）の 対象期間		令和7年4月1日～令和8年3月31日

2 企画提案事業・自主事業の実施状況（対象：自己評価の対象期間）

企画提案事業	応募時提案 （□にレ点）	実施の有無 （○・×）	備 考 （補足説明等）
施設の運営に関する事業	☒	○	
利用者への飲食等の提供に関する事業	☒	○	
広報事業	☒	○	
コンベンション等誘致支援に関する事業	☒	○	
便益施設の設置等事業	☒	○	
	☐	○	
	☐	○	
	☐	○	
	☐	○	
自主事業	応募時提案 （□にレ点）	実施の有無 （○・×）	備 考 （補足説明等）
主催・共催事業	☒	○	
新規展示会開催への取組事業	☒	○	
開催業務の効率化と人材育成の促進事業	☒	○	
主催・共催イベント事業の実施事業	☒	○	

※応募・申請時の提案書や毎年度の事業計画書等に記載の事業を記入してください。

3 自己評価結果

評価項目及び評価のポイント		自己評価
1 施設の設置目的の達成（有効性の向上）に関する取組み		
(1) 施設の設置目的の達成		評価レベル (0～5)
① 計画に則って施設の管理運営（指定管理業務）が適切に行われたか。また、施設を最大限活用して、施設の設置目的に沿った成果を得られているか（目標を達成できたか）。		4
② 利用促進を目的としている施設の場合、施設の利用者の増加や利便性を高めるための取組みがなされ、その効果があったか。		
③ 複数の施設を一括して管理する場合、施設間の有機的な連携が図られ、その効果が得られているか。		
④ 施設の設置目的に応じた効果的な営業・広報活動がなされ、その効果があったか。		
[評価の理由、要因・原因分析]		
【北九州国際展示場】		
施設の設置目的である産業・貿易の振興及び国際交流の推進のため、展示会・見本市等の誘致に加え、重点分野であるコンサート等のエンタメイメントや大型スポーツ大会の誘致を強化し、多様な交流・にぎわいを創出した。		
さらに、関連事業者や団体との連携により主催事業の魅力向上にも取り組み、展示会の事業効果の向上を図った。		
また、令和7年度も引き続き、施設利用者の多種多様なニーズに対応した事業運営・誘致営業に取り組み、北九州国際展示場と北九州国際会議場を同時に利用する大規模学会や、北九州国際展示場と西日本総合展示場を同時に利用するエンタメイメント・大型スポーツ大会の開催など、施設相互利用の実績も挙げており、3施設の一体管理による有機的連携のメリットを創出している。		
なお、施設老朽化への対応に関しては、自主的な安全点検や修繕、改修工事などを市や主催者と綿密に調整することで、催事への影響を最小限に留めて遅滞なく行い、適切な施設管理を実施している。		
広報活動については、専門誌への広告記事やJR小倉駅JAMビジョン等、様々な広告媒体を組み合わせた広報活動に加え、地域のホテル事業者や商店街等に随時催事情報を提供するなど、地域団体や市内事業者と連携した取組みを積極的に行ってきた。		
これらの取組みを戦略的に推進した結果、エンタメイメント・大型スポーツ大会の開催の増加等により利用件数及び稼働率は目標を達成し、前年度の実績を上回る成果を上げた。		

年度		6年度 (更新前)	7年度 (1年目)	8年度 (2年目)	9年度 (3年目)
利用件数 (件)	目標	163	165	165	165
	実績	149	167	—	—
稼働率 (%)	目標	80.0	80.0	80.0	80.0
	実績	80.5	80.9	—	—

※ ・・・評価対象年度

【北九州国際会議場】

施設の設置目的である国際化の推進及び市民文化の向上のため、コンベンションの積極的な誘致活動に取り組んだ。MICE誘致にかかる都市間競争が激化する中、令和7年度は各種商談会等を積極的に活用するとともに、地域の大学や、JNTO・JCCB等の各MICE関係団体、主催者、キーパーソン等との連携強化に努め、地域の特色や受入環境を活かしながら、ニーズに応じたきめ細やかな対応を続けてきた。

併せて、現地でしか体験できないユニークベニューやアクティビティコンテンツの新規開拓・PRを精力的に行った。また、催事についても新規案件の掘り起こしに努めた。

その結果、利用件数とコンベンション誘致件数については目標に至らなかったものの、国際会議場を利用した国際規模・全国規模の学会は前年度比29件増加し、稼働率については目標を達成した。

また、ICCAが認定した国際会議の開催件数が本市史上最高の16件に達し、都市別国内順位は7位を記録した。

年度		6年度 (更新前)	7年度 (1年目)	8年度 (2年目)	9年度 (3年目)
利用件数 (件)	目標	570	570	570	285
	実績	546	454	—	—
稼働率 (%)	目標	90.0	90.0	90.0	90.0
	実績	96.0	94.4	—	—
コンベンション誘 致件数 (件) (注)	目標	250	250	250	250
	実績	256	208	—	—

※ ・・・評価対象年度

(2) 利用者の満足度

評価レベル
(0～5)

- ① 利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。
- ② 利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。
- ③ 利用者からの苦情に対する対応が十分に行われたか。
- ④ 利用者への情報提供が十分になされたか。
- ⑤ その他サービスの質を維持・向上するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。

4

【評価の理由、要因・原因分析】

【北九州国際展示場】

● 数値は「非常に満足・満足」の合計

【会場・設備】	6年度 (更新前)	7年度 (1年目)	8年度 (2年目)	9年度 (3年目)
実績 (%)	88	88	—	—

● 数値は「非常に満足・満足」の合計

【職員の対応】	6年度 (更新前)	7年度 (1年目)	8年度 (2年目)	9年度 (3年目)
実績 (%)	97	100	—	—

【回収件数・回収率】	6年度 (更新前)	7年度 (1年目)	8年度 (2年目)	9年度 (3年目)
件数 (件)	66	44	—	—
回収率 (%)	44	26	—	—

※ ・・・評価対象年度

利用者アンケートによると、「職員の対応」については、「非常に満足」が91%、「満足」が9%と、令和7年度も高い評価を得た。アンケートのコメントによると、開催における助言や提案、開催前～当日～開催終了までの一貫した丁寧で迅速な対応等が評価されている。

また、利用者の満足度向上のため、利用者からの意見を把握し改善につなげるQC活動や、スキルアップを図る取組みを自主的に実施している。

これらの取組みの結果、次回の使用についてのアンケート数値において、「ぜひ利用したい」、「機会があれば利用したい」を合わせて95%と非常に高い評価を得ている。

一方、アンケート回収件数が44件と前年度に比べて低くなっているため、アンケートの回収率を上げ、より多くの利用者の意見を聞く取組みを実施する必要がある。

【北九州国際会議場】

● 数値は「非常に満足・満足」の合計

【会場・設備】	6年度 (更新前)	7年度 (1年目)	8年度 (2年目)	9年度 (3年目)
実績 (%)	100	98	—	—

● 数値は「非常に満足・満足」の合計

【職員の対応】	6年度 (更新前)	7年度 (1年目)	8年度 (2年目)	9年度 (3年目)
実績 (%)	99	100	—	—

【回収件数・回収率】	6年度 (更新前)	7年度 (1年目)	8年度 (2年目)	9年度 (3年目)
件数 (件)	161	191	—	—
回収率	29	42	—	—

※ ・・・評価対象年度

利用者アンケートによると、「職員の対応」についての数値は、「非常に満足」、「満足」が 100%と引き続き高い評価を得ている。アンケートのコメントによると、利用者の要望への柔軟な対応や細やかな気配りなど、職員の対応の良さが評価されている。 次回の利用については、「ぜひ利用したい」、「機会があれば利用したい」が 99%と、満足度の高さが裏付けされており、リピーターの増加も期待できる。 また、アンケートの回収率は、前年度と比較し大きく増加している。引き続き回収率を向上し、より多くの利用者の意見を聞く取組みを実施していく。 なお、北九州国際展示場・北九州国際会議場ともにアンケート対象者はイベント実施者であるが、北九州観光コンベンション協会主催展示会においては、一般来場者向けのアンケート調査も行っており、満足度調査では高い評価を得ている。 ●令和 7 年度調査「(展示会について) 非常に満足・満足」 課題解決 EXPO・・・95.5% 西日本陶磁器フェスタ・・・98.2%	
2 効率性の向上等に関する取組み	
(1) 経費の低減等	評価レベル (0～5)
① 施設の管理運営(指定管理業務)に関し、経費を効率的に低減するための十分な取組みがなされ、その効果があったか。 ② 清掃、警備、設備の保守点検などの業務について指定管理者から再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫がなされたか。 ③ 経費の効果的・効率的な執行がなされたか。	3
【評価の理由、要因・原因分析】 【共通】 2 施設の管理運営費は目標を達成することができなかったが、利用想定を超える施設稼働による経費の自然増や業務委託費の高騰など、必然及び外部要因によるところが大きいと考えている。 光熱水費や委託業務に係る人件費単価の値上がりなど、維持管理経費が増加傾向にある中、令和 7 年度は昨今の利用状況に合わせた施設の電力デマンドの見直しを実施するなど、コスト増を抑える取組みを続けている。 また、再委託については、平成 19 年度より実施している 4 施設(北九州国際展示場・北九州国際会議場・西日本総合展示場・A I Mビル)の一体管理により、経費削減を引き続き実施している。	

(単位：千円)

【支 出】		6年度 (更新前)	7年度 (1年目)	8年度 (2年目)	9年度 (3年目)
事業費	計画	34,628	39,500	39,500	39,500
	実績	39,758	43,329	—	—
人件費	計画	157,755	160,009	160,009	160,009
	実績	151,409	181,308	—	—
施設維持 管理費	計画	420,384	445,217	445,217	445,217
	実績	427,495	443,988	—	—
その他管理 運営費	計画	47,689	71,286	71,286	71,286
	実績	84,872	63,828	—	—
一般管理費等	計画	0	0	0	0
	実績	0	0	—	—
計	計画	660,456	716,012	716,012	716,012
	実績	703,534	732,453	—	—

(単位：千円)

【うち修繕費】	6年度 (更新前)	7年度 (1年目)	8年度 (2年目)	9年度 (3年目)
計画	—	22,657	22,657	22,657
実績	15,638	23,073	—	—

※ ☐ …… 評価対象年度

(単位：千円)

【うち共用部分 (ガレリア)】	6年度 (更新前)	7年度 (1年目)	8年度 (2年目)	9年度 (3年目)
計画	56,018	48,828	48,828	48,828
実績	56,540	58,658	—	—

※ ☐ …… 評価対象年度

※令和6年度は指定管理期間延長に伴う指定管理料増額で算出された金額ありきの契約で各費用の内訳がないため、当該計画値には、令和5年度の数値を入力している。

(2) 収入の増加

評価レベル
(0～5)

- ① 収入を増加するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。
- ② 使用料(利用料金)収入以外に、自主事業による収入や、企業などの外部からの収入(例：協賛金など)を獲得できているか。

5

③ 自主事業による収益を活用した施設の魅力向上などの投資や、サービス向上などの指定管理業務や市への収益還元の取組みがなされたか。

[評価の理由、要因・原因分析]

(単位：千円)

【収 入】		6年度 (更新前)	7年度 (1年目)	8年度 (2年目)	9年度 (3年目)
展示場等 利用料金収入	計画	231,100	282,221	282,221	282,221
	実績	290,483	326,684	—	—
地下駐車場 使用料収入	計画	93,803	82,897	82,897	82,897
	実績	85,641	82,657	—	—
会議場等 利用料金収入	計画	99,156	97,241	97,241	97,241
	実績	104,290	117,180	—	—
自主事業収益 還元	計画	0	2,802	2,802	2,802
	実績	0	0	—	—
指定管理料 収入	計画	268,420	250,851	250,851	250,851
	実績	268,420	250,851	—	—
雑収入	計画	4,737	0	0	0
	実績	6,298	700	—	—
計	計画	692,216	716,012	716,012	716,012
	実績	755,132	778,072	—	—

<指定管理業務への収益還元の状況>

(単位：千円)

【実績】	6年度 (更新前)	7年度 (1年目)	8年度 (2年目)	9年度 (3年目)
利益額	0	45,619	—	—
還元額	0	22,809	—	—
還元率	0%	50%	—	—

※ ・・・評価対象年度

【共通】

利用料金収入は目標値を大幅に上回り、令和6年度収入からも増加した。特に、重点分野であるエンタメイメント・大型スポーツ大会等の大型催事の誘致強化及び施設環境の整備を行うとともに、コンサート誘致コンソーシアムや市との連携も強化し、コンサート等のエンタメイメント・大型スポーツ大会等の開催が増加した。

指定管理事業全体の収益も黒字であり、北九州市への収益還元を実施した。また、一部の概算払い費用においては当協会から持ち出しにより費用補填を行った。	
3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み	
(1) 施設の管理運営（指定管理業務）の実施状況	評価レベル (0～5)
① 施設の管理運営（指定管理業務）にあたる人員の配置が合理的であったか。	4
② 職員の資質・能力向上を図る取組みがなされたか（管理コストの水準、研修内容など）。	
③ 地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。	
[評価の理由、要因・原因分析] 【共通】 人員については、土日の催事に対応できるようシフトを組むなど、プロパー職員、嘱託職員、派遣職員を効率的に配置している。 人材育成については、サービスの専門的な知識やスキルを習得し、職員の資質や能力の向上を図るため、外部講師を招聘した研修会の開催や、市及び民間団体が主催する研修への派遣、他施設との情報交換など幅広い施策を実施した。 また、JCCB・ICCAが主催する国内外の展示会や、全国展示場連絡協議会・国際会議場施設協議会・日本展示会協会などの業界団体が開催する総会・研修会に積極的に参加することで、同業他社との情報交換を行い、サービスの改善、効率的な施設管理、営業・誘致ネットワークの拡大に努めた。 加えて、職員のQC活動、舞台管理委託業者や設備管理業者との意見交換、接遇マナー研修、国際会議主催者セミナープログラムやWEB配信事例紹介などを実施し、利用者満足度の向上を図った。 地域や関係団体との連携や協働については、小倉駅新幹線口地区振興連絡会の事務局を務め、様々なイベントを企画・実施するとともに、新幹線口エリアのクリーンアップ活動を年間数回実施するなど、地域の団体と協働して新幹線口エリアのにぎわいづくりを進めている。 さらに、市内のMICE関係者で構成する北九州市グローバルMICE推進協議会の事務局を務め、ホテルや旅行社などの地元関係者が一丸となり、「チーム北九州」としてMICE誘致や開催支援を行っている。	
(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など	評価レベル (0～5)
① 施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切に実施されているか。	4
② 利用者を限定しない施設の場合、利用者が平等に利用できるよう配慮されていたか。	
③ 利用者が限定される施設の場合、利用者の選定が公平で適切に行われていたか。	

④ 施設の管理運営（指定管理業務）に係る収支の内容に不適切な点はないか。	
⑤ 日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。	
⑥ 防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であったか。	
⑦ 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか。	
【評価の理由、要因・原因分析】 個人情報については、マイナンバーに係る書類等の取扱いなどをはじめ、適正に管理している。 平等利用・公平性については、北九州国際展示場管理要綱及び北九州国際会議場管理要綱に基づき適切に対応し、利用者間で利用日が重複した場合は抽選を行うなど、特に大きな問題もなく公平性を確保している。また、法改正にあわせた内部規定の見直しも随時適正に行っており、施設の管理運営に係る収支については会計処理規則を定め、適正な会計処理を行っている。 また、老朽化した施設の修繕や改修工事、施設保全のための点検（一部行政側が行うべきものを含む）を積極的に実施し、安心・安全な施設運営に努めており、令和7年度は、安全面や緊急性を最優先に、委託業者などからのアドバイスも参考にしながら修繕、補修工事に取り組み、国際展示場は60件、国際会議場は29件の工事を実施した。 危機管理体制については、防火管理者と合わせて防災管理者の選任、自衛消防組織及びA I Mビルとの共同防火防災管理体制を整えるなど、適切な対策を講じている。 このほか、近隣での大規模イベントによる騒音や交通規制など、当施設利用者への影響が懸念される際には、事前に施設管理者間で協議・調整を行い、関係各所へ周知と協力を働きかける体制を徹底するなど、円滑にイベントの開催や施設の運営を行えるよう最大限配慮しており、これまで大きなトラブルや混乱は発生していない。 さらに、8月の大雨の際には、J R新幹線等の運転見合わせで発生した帰宅困難者のための緊急避難所をA I M3階展示場等に開設し、235名を受け入れるなど、市と連携して適切な対応を行った。	

【総合評価】

【全体的な評価・今後の対応等】

【北九州国際展示場】

展示場の利用拡大、小倉駅新幹線口のにぎわいづくり、既存利用者への働きかけや新規顧客の開拓など、展示会・見本市や新規のコンサート等大規模イベント等の誘致に積極的に取り組み、収益を向上させた。今後、より戦略的にエンタメイベント・大型スポーツ大会等大規模催事の誘致を進めていく。

施設の維持管理については、継続して経費削減に取り組みつつ、老朽化の影響により設備・機器等にいつどんな不具合が起こるか分からない状況の中、定期点検以外にも自主的な点検等を積極的に行い、予見される部分の改修や不具合の生じた箇所への迅速な対応など、適正な管理運営を実施している。

また、市との施設改修に向けた協議も積極的に実施しており、引き続き問題意識や計画性をもって施設の管理運営に努める。

【北九州国際会議場】

グローバルMICE都市・北九州市を牽引する施設として、積極的な誘致活動を進めてきた結果、ICCAが認定した国際会議の開催件数が本市史上最高の16件に達し、都市別国内順位は7位となった。

令和8年度以降も会議場の利用状況は好調であり、主催者のニーズ動向を的確に把握した誘致活動が功を奏している。キーパーソンへのアプローチやMICE商談会への参加を継続し、積極的に誘致を進めることにより、国際会議をはじめとするコンベンション誘致件数について高水準を維持し、本市の国際化推進及び市民文化の向上に寄与してまいりたい。

更に、利用者の利便性向上のため、Web上での施設予約手続きを可能とするオンライン予約システムを検討するなど、更なる稼働率向上に向けた取組みも進めていく。

施設管理の面では、開館から30年以上が経過し、施設の老朽化が進む中、不具合が見受けられる箇所は早急に改修・補修を行っており、引き続き施設における日々の点検等、適正な管理運営を実施する。

【評価レベル】

評価レベル		評価レベルの考え方
5	良	要求水準・目標・計画を大幅に上回り、特に優れた管理運営をおこなった
4	↑	要求水準・目標・計画を上回り、優れた管理運営をおこなった
3	普 通	要求水準・目標・計画を満たしており、適正に管理運営をおこなった
2	↓	要求水準・目標・計画を下回り、課題の残る管理運営となった
1		要求水準・目標・計画を大幅に下回り、大いに課題の残る管理運営となった
0	適切でない	不適切な管理運営となった

※この様式は外部にも公表する資料となります。